



平成 29 年度

「チャレンジクラブ【地域版】」

実施要項

公益財団法人北海道体育協会

公益財団法人北海道体育協会

平成 29 年度「チャレンジクラブ（地域版）」実施要項

1. 事業名 「チャレンジクラブ（地域版）」
2. 事業趣旨 道内の子ども達にスポーツを楽しむ機会を提供し、様々なスポーツを体験することでスポーツへの興味・関心を向上させることにより、子どもの体力・運動能力向上を図ることを目的とし、更には各競技の底辺の拡大を図り道内のスポーツ振興を目指す。
3. 主催 公益財団法人北海道体育協会
4. 特別協賛 北洋銀行 ホクレン農業協同組合連合会
5. 協賛・協力 事業実施市町村関係団体等
6. 日程・時間 平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月上旬までの期間で 1 競技種目 2 回を目安として全 10 回以上を実施すること。
7. 事業対象 小学生を対象とする。（最低人数 15 名）
基本的には、スポーツ少年団に加入する前の小学 1 年生～3 年生を対象としていますが、各地域の事情に合わせて対象学年範囲を広げてください。
参加人数が 15 名以下の場合、助成を中止する場合があります。
8. 助成対象 加盟市町村体育協会
9. 採択件数 15 件（予定）
10. 種目・指導者
地元競技団体・スポーツ団体と連携し、5 種目以上の競技を実施すること。
指導者(成人)は 2 名以上配置すること。（全体指導 1 名+初心者対応 1 名）
主担当の指導者は競技指導者や学校教員を配置すること。（有資格者が望ましい）
30 名を超える場合は 15 名ごとに 1 名の指導者を配置すること。
チャレンジクラブに指導者を招集し指導を受ける。
既存のスポーツ少年団にチャレンジクラブの参加者が体験参加する。
各スポーツ少年団によって指導方針が異なるため、事前にチャレンジクラブの趣旨を指導者に伝え事業を進めてください。

1 1 . 指導内容 本事業に参加することで、『自分にあったスポーツ』『自分が好きなスポーツ』を見つけるとともに身体の使い方やスポーツの楽しみを体験し、その後のスポーツ活動に参加するきっかけとなることを目的としていることから、競技経験のない初心者に対する体験型の指導を行うこと。

未経験者や競技自体を知らない子ども達に、競技に精通した指導者が競技独自の楽しさや面白さを伝えていただき、子ども達や保護者が競技に興味・関心を持つことを目的とした初心者教室です。

1 2 . 参 加 料 1 回あたり 500 円までを上限とする。(保険料は別途でも可)

1 3 . 体カテストの実施

事業期間中に「新・体カテスト」を実施し、参加者統計を収集する。

開催形態に合わせて期間中に 1 回実施する。

50m 走などの実施が難しい場合は 20 ~ 30m の短縮版でも可とする。

1 4 . アンケートの実施

チャレンジクラブ最終日に子ども達向けのアンケート< 様式 9 > を行うこと。アンケート結果は事業終了時に集計し報告すること。

アンケート内容の 1 項目 ~ 5 項目以外に各市町村独自で内容を追加してもかまいません。

1 5 . 保険の加入

参加者全員を対象とした傷害保険に加入する。

指導者の賠償責任保険については、本会が加入している賠償責任保険の対象となります。

1 6 . 助成金

採択された市町村体育協会に対し、100,000 円の事業助成金を概算払します。

なお、助成金については以下の科目に該当する支出のみ対象経費とする。

・諸謝金 (講師・ボランティア等の謝金)

・旅費交通費 (講師の旅費) 支出は各実施団体の旅費基準を採用

・消耗品費 (事務消耗品・競技用消耗品・)

・消耗什器備品 (競技用具等) ※施設の設定備や修繕は対象外とする。

・賃借料 (競技用具・実施施設の借用等)

・通信運搬費 (郵券代・宅配料等)

・広告宣伝費 (広告掲載等)

・印刷製本費 (資料等印刷代)

・保険料 (傷害保険等)

・手数料 (振込手数料)

・食糧費 (弁当等) ※開催時間が 4 時間以上で関係者に食事の提供が必要と認め

られる場合に限りです。(事前打合せ等の会食は認めません)

なお、報告時には、事業助成金を超える額の領収書のコピーを添付すること。

17. 運営体制 隣接する市町村体育協会と合同で実施することも可能です。
- 1 権利として申請願います
- 教室実施にあたっては、競技指導者の他に事業責任者として主催者団体職員を1名以上配置すること。また、各種スポーツ系の大学や専門学校等の学生・指導者などのボランティアを数名募集し、教室運営補助スタッフの協力を得る事が望ましい。
18. 申請 本事業の助成を希望される団体は平成29年5月12日(金)までに別紙申請書(様式1~4)を提出すること。
19. 報告 報告書については、別紙の事業報告書(様式5~7)及びアンケート集計結果を当該年度3月末日までに提出すること。
20. 保護者への案内
- 本事業は、北洋銀行及びホクレン農業組合連合会からの寄付の一部を原資に展開しています。活動内容や写真が北海道体育協会のホームページや各種報告、北洋銀行及びホクレン農業組合連合会が行う広告活動(CM・ポスター等)に掲載される場合があることを事前に周知してください。
- 体力測定、アンケートの結果は、きたえるホームページで公開します。
(市町村ごとの全体結果のみを掲載します。)
21. その他
- 選定された市町村は、北海道体育協会ホームページ内において、『子どもの体力・運動能力向上事業』協力市町村として、各市町村の『チャレンジクラブ』の取り組み概要を公表いたします。(ホームページ内にリンクを貼ります。)
- 独自の資金でチャレンジクラブの開催を希望する市町村についても、チャレンジクラブの趣旨や条件が合っている場合は、協力市町村として同様に取り組みを公表いたします。(実施要項及び報告書の提出願います)
22. 特典
- 北洋銀行より景品及びホクレン農業協同組合連合会より『チャレンジクラブ』参加者全員にスポーツ応援米をプレゼントします。(担当者へ郵送します)
23. 協力
- 本事業は北洋銀行からのスポーツ振興のための寄付金及びホクレン農業協同組合連合会が発売する『スポーツ応援米』の売り上げの一部で展開しています。今後、本事業を全道各地で実施するためにも『スポーツ応援米』を各市町村のスポーツ大会の景品等で購入いただくなど、購入に対して積極的にご協力いただきますようお願いいたします。

公益財団法人北海道体育協会

平成 29 年度「チャレンジクラブ（地域版）走り方教室」実施要項

- 1 趣 旨 本道の児童の体力は全国水準を未だ大きく下回っており、このような状況を改善するために「チャレンジクラブ（地域版）」に採択された市町村体育協会を対象に北海道内のトップレベルの指導者による運動の基礎となる「走る」動作を指導する「走り方教室」を実施する。
- 2 主 催 公益財団法人北海道体育協会
- 3 協力団体 ホクレン、ミズノスポーツサービス（株）、北海道ハイテクアスリートクラブ（予定）
- 4 対 象 平成 29 年度「チャレンジクラブ（地域版）」採択市町村体育協会
- 5 実施事業数 3 ～ 4 会場程度（地域バランス等を考慮し決定致します）
- 6 経 費 講師派遣に係る経費については本会にて負担する。
- 7 申込方法 平成 29 年度「チャレンジクラブ（地域版）」事業実施申請書（様式 2）最下段の欄より申し込むこととする。
- 8 その他 開催日程については主催者、協力団体との調整により決定する。